

みずほCustomer Desk Report 2017/07/11号(As of 2017/07/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	114.14 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.97	1.1403	129.95	0.9637	1.2892	0.7605
SYD-NY High	114.30	1.1418	130.40	0.9675	1.2908	0.7615
SYD-NY Low	113.88	1.1382	129.85	0.9630	1.2855	0.7587
NY 5:00 PM	114.04	1.1399	129.99	0.9658	1.2880	0.7607
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.8/8.175		△25RR	0.770	Yen Call Over	
NY DOW	21,408.52	▲ 5.82	債券市場	日本2年債	-0.0960	0.7bp
NASDAQ	6,176.39	23.31	日本10年債	0.0940	0.7bp	
S&P	2,427.43	2.25	米国2年債	1.3830	▲1.6bp	
日経平均	20,080.98	151.89	米国5年債	1.9321	▲1.5bp	
TOPIX	1,615.48	8.42	米国10年債	2.3730	▲1.3bp	
シカゴ日経先物	20,085.00	25.00	独10年債	0.5400	▲3.3bp	
ロンドンFT	7,370.03	19.11	英10年債	1.2680	▲3.7bp	
DAX	12,445.92	57.24	豪10年債	2.7390	0.9bp	
ハンセン指数	25,500.06	159.21	為替市況	USD/CNH	6.8060	0.0021
上海総合	3,212.63	▲ 5.32	ドルインデックス	96.02	0.01	
USDJPY 3M Vol	8.33	▲0.30%	商品市況	CRB指数	172.742	0.18
USDJPY 6M Vol	8.73	▲0.22%	NY金	1,213.20	3.50	
EURJPY 3M Vol	9.02	▲0.24%	WTI	44.40	0.17	
EURJPY 6M Vol	9.45	▲0.20%	Dubai Spot	44.97	▲0.73	

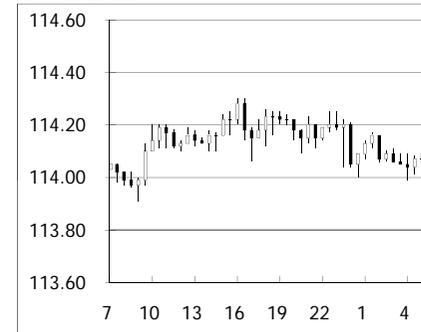
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月10日	8:50	日 機械受注(前月比/前年比)	5月 -3.6%/0.6%	1.7%/7.6%
	8:50	日 経常収支/貿易収支	5月 ¥1653.9B/-¥115.1B	¥1792.8B/-¥45.0B
	9:30	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	10:30	中 CPI/PPPI(前年比)	6月 1.5%/5.5%	1.6%/5.5%
	15:00	独 貿易収支/経常収支	5月 €22.0B/€17.3B	€18.7B/€15.4B
	23:00	米 労働市場情勢指数	6月 1.5	2.5

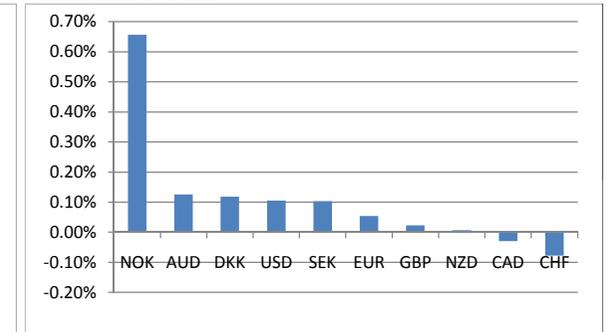
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月11日	12:05	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
7月12日	1:30	米 ブレイナードFRB理事 講演	-	-
	-	欧 ユーロ圏財務相会合(-7/10)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.50	1.1350-1.1450	129.50-130.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、海外勢が利上げ期待通貨を中心に買い進める展開でクロス円が底堅い展開で始まるも、ドル円は節目の115円を前に利益確定の売りに遮られ、上抜け失敗。その後、米労働市場情勢指数が予想を下回る数字に加え、米株も前日比マイナススタートの動きに一時114.00割れも米株がマイナス幅を縮小し始めると、114円台回復で引けた。本日は、週後半のFEDイェレン議長議会証言や米CPI発表を前に様子見で、前日に引き続き、小幅な動きに終始するであろう。

東京	東京時間オープン前に発表された本邦5月経常収支は1兆6,539億円の黒字(予想:1兆7,928億円の黒字)とほぼ市場予想通りに結果に反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は113.97レベルでオープン。日経平均株価が前日比100円超上昇して寄り付くと、先週金曜日からドル買い円売りの流れもありドル円は114.20近辺まで上昇。その後、中国6月CPI/PPPIが発表されるも、ほぼ予想オフラインの数字に目立った反応は見られなかった。午後に入り、日銀のさくらレポートが公表され、幅広い地域で景気判断が「拡大」との表現が見られたものの、こちらも影響は限定的であった。引けにかけて114円台前半では底堅さを見せた一方、一段上昇する手掛かりもなく、114.10-20近辺の狭いレンジ内での推移が続き、114.22レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、114.22レベルでオープン。先週発表された米6月雇用統計後の米金利上昇が一服し、ドル円も114円台前半を方向感無く小動きする展開。114.17レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2908レベルでオープン。スイス金融大手が英EU離脱に備えてロンドンのスタッフをフランクフルトかモントレー、またはアムステルダムに移転させることを検討していると報道されたことで、英EU離脱の悪影響が意識される中、軟調に推移。リアとナイジェリアの原油増産や米石油掘削リ稼働数の増加等を背景に、主要産油国の供給拡大に対する懸念が強まったことから、北海ブレント原油先物が2週間ぶりの安値を更新すると、ポンドドルも1.2858まで売られ、1.2881レベルでNYに渡った。(ロンドントルジャー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外時間のドル円は114円台前半を中心に底堅く推移し、114.17レベルでNYオープン。今週は12日(水)にイェレンFRB議長の米下院金融委員会での議会証言を控え(証言原稿公表AM8:30EST、議会証言AM10EST)様子見モード。米金利上昇を横目に114.25まで上昇したが、海外時間高値114.30を抜け切れなかったこともあり、ビッグイベント前の利益確定売りも散見される中、ロンドン時間安値となる114.05を下抜けると114.00まで下落。WTI原油反発を背景に軟調に寄り付いた米株がナスダックに回復したこと、ドル円も一旦114.16まで反発したが戻りは鈍く、その後再度113.98まで下落した。結局、114.04レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1389レベルでオープン後、新規材料に欠けるなか1.1408まで上昇したが、こちらも週末の注目イベントを控えて様子見モードとなり、引けにかけて緩やかに下落し、1.1399レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。